

題材 「はみがきめいじんになろう！」

対象：小学校低学年

題材設定の背景

この時期の子どもは、乳歯から永久歯に生え替わりつつあり、生えて間もない永久歯は虫歯になりやすい。また、歯を失うばかりではなく、虫歯が感染の源となって生活習慣病のきっかけになる場合もある。歯・口の健康を維持することは、豊かで健康な生活をおくるためにも大切なことである。子どもは、学校では、昼食後、歯みがきを実施する習慣が身に付きつつある。しかし、家庭に戻ると進んで歯みがきをしていない子ども、歯みがきをしてもうまくみがけていない子どもがたくさんいるというのが現状である。

ねらい

健康な歯と虫歯について考えさせたり、歯をみがいた後も歯が汚れていることに気付かせたりすることにより、歯を上手にみがこうとする意欲や態度を育む。

	活動の内容	主な指導・支援
活動の開始	<p>虫歯がある人と虫歯がない人の生活の違いについて考える。</p> <p>虫歯がある人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時々、歯が痛くなる</li> <li>・よく噛めない ・元気が出ない</li> <li>・集中できない ・話にくい</li> <li>・歯医者に行って痛い思いをする</li> </ul> <p>虫歯がない人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よく噛める ・何でも元気にできる</li> <li>・いろいろな物を食べることができる</li> <li>・歯みがきが楽しい</li> </ul> <p>虫歯にならないためには、歯みがきが大切であることに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・甘い物を食べない</li> <li>・歯みがきをしっかりする</li> </ul> <p>本時の活動のねらいを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虫歯がある人と虫歯がない人の生活の違いについて考えさせることにより、虫歯があるよりも虫歯がない方がいいことをつかませる。</li> <li>・低学年の子どもに分かりやすいように、虫歯がある人と虫歯がない人の生活の様子を絵で示しながら、黒板に対照的にはるようにする。</li> <li>・虫歯になると歯を失うばかりではなく、乳歯の場合、永久歯に影響を与えたり、感染の源となって身体に影響を与えたりすることについて簡単に説明する。</li> <li>・虫歯にならないためには、どのようなことが大切と考えさせることにより、日ごろからしている歯みがきが大切であることに気付かせる。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p><b>はみがきめいじんになろう！</b></p> </div>		
活動の展開	<p>歯をみがいた後の歯の様子を想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは、どれかなあ</li> </ul> <p>歯をみがく。</p> <p>染め出し検査を行い、歯の汚れを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色が付いたところがいっぱいある</li> <li>・きれいにみがくことができていない</li> </ul> <p>正しい歯のみがき方について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいに歯をみがく方法を知りたいなあ</li> <li>・歯みがきにも順番があるって知らなかった</li> <li>・みがき方がいろいろあるなあ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・染め出しの写真を3枚（きれいな歯、少しみがき残しがある歯、とても汚れた歯）見せることにより、自分の歯の状態について考えさせる。</li> <li>・時間は5分間確保し、その間は、話をせず、自由にみがくように指示をする。</li> <li>・染め出し検査の方法を教えるとともに、染め出し検査に使う液が身体に害がないものであることを伝える。</li> <li>・子どもの数によっては養護教諭に手伝いを依頼しておく。</li> <li>・自分ではしっかりみがけたと思って、実際はよくみがくことができていないことを手鏡を使って確認させる。</li> <li>・なぜうまくみがくことができなかったのか考えさせる。</li> <li>・担任、もしくは養護教諭により、歯の（大型）模型や歯みがき順序図を使い、正しい歯のみがき方について分かりやすく説明する。</li> <li>・時間があれば練習をさせながら一人一人指導に当たる。</li> <li>・特に、日ごろから歯みがきが十分できていない子どもに対しては、直接手を添えていねいに指導する。</li> </ul>

活動のまとめ	<p>学習を振り返り，これからの自分のめあてを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家でも学校でも，1週間毎日練習して，歯みがき名人になるぞ！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯みがきカレンダーにめあてを書かせ，自分でチェックしながら1週間練習することを伝えることにより，「歯みがき名人になろう」とする意欲を高める。</li> </ul>
備考	<p>事前の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼食後の子どもの歯みがきの様子や家庭においての歯みがきの様子を事前に調査しておく。また，正しい歯のみがき方についての授業をすることを家庭に知らせておく。</li> </ul> <hr/> <p>事後の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯みがきカレンダーチェックの協力を通信等により家庭に依頼したり，給食時間に個別に指導したりしながら，正しい歯のみがき方の定着を図る。</li> <li>・染め出し検査を実施し，どの部分にみがき残しが多いか一人一人気付かせることにより，正しい歯のみがき方を身に付けたいという意欲を高める。</li> <li>・歯みがきカレンダーのチェックを親（家族）と一緒にすることと1週間後の子どもの様子を歯みがきカレンダーに書いてもらうことを保護者に依頼しておく。</li> </ul>	